



空家対策について

1 空家の現状

- ・ 周辺へ及ぼす悪影響（防災・防犯／衛生／景観等）
- ・ 増え続ける空家（今後も増加予想）
- ・ 主な発生原因は「相続」「施設入居」など

空家 = 社会問題



空家は年々増加中

2033年（H45）には

3戸に1戸が空家？！

2 市の実態

1 実態調査の実施（H29年度）

推定空家数 566件

所有者等が抱える課題は・・・

- どうしたらいいのか…
- 売却したい!
- 相続が終わっていない
- 解体したいけど費用がない

評価判定	件数
Aランク	331
Bランク	193
Cランク	40
Dランク	2

良
悪

うち水谷東小学校区 112件

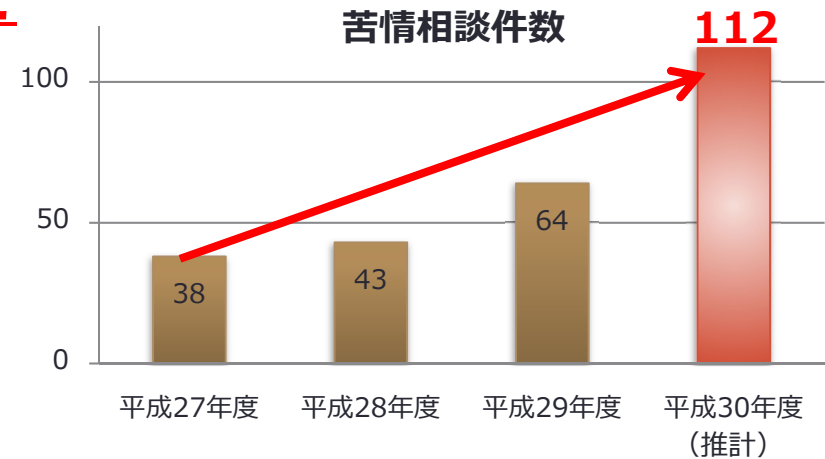
A：修繕で再利用可 B：当面の危険性はない C：損傷が激しい D：危険あり



空家対策について

3. 安全安心なまちづくりに向けて

- 1 富士見市空家等対策の推進に関する条例制定 (H29.6)
- 2 空家総合窓口の設置 (建築指導課)



4. 今後の取組

- 1 富士見市空家等対策計画の策定 (H30.11末予定)

【基本的な方針と方向性】

発生抑制	意識啓発等による空家化の予防
流通・利活用	流通の活性化・再利用の促進
適正管理	管理不全な状態の改善・除却の促進



既存空家への取組・空家を作らない取組





水害対策について

1. 水害の現状について

- ・市内の水防施設（排水ポンプ）は28箇所（内、水谷東地域には別所雨水ポンプ場等 10箇所）
- ・短時間かつ局所的な集中豪雨が近年増加

近年の台風による水害

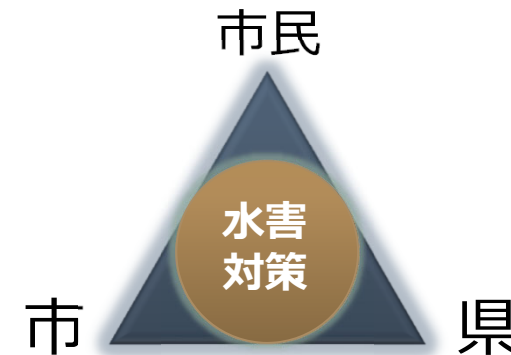
災害要因	被災内容	被災棟数
台風9号（H28.8）	床上・床下浸水	105件
台風21号（H29.10）	床上・床下浸水	24件



対策強化により甚大な被害を回避

2 水害対策の基本的な考え方

- ・市民
 - ➡ 情報収集、土のう設置、早期避難
- ・市で点検・更新・増強
 - ➡ 道路側溝・水路・排水ポンプ
- ・県で点検・更新・増強
 - ➡ 流末となる新河岸川 や 柳瀬川



市民・市・県それぞれの取組みにより、水害対策へ繋がる

水害対策について



3. 整備事例（水谷東地域）

別所雨水ポンプ場が整備(平成8年) されて以降、近年の水害は軽減

事例1 別所雨水ポンプ場（水谷東3丁目）
【平成8年 整備】



水子・水谷東地域の雨水を新河岸川へ放流



ふわっぴー

引き続き、事業にご理解・ご協力をお願いいたします。

事例2 側溝再整備（水谷東2丁目）
【平成28年 整備】



雨水が溜まり易い構造であったため、側溝を分岐し流れる方向を分散するとともに側溝を大きくした。

今後 水谷調節池の整備



調節池：川の一部を放流し、洪水を抑制するもの

【写真はイメージ】 ※埼玉県内にある調節池